

令和6年9月定例会 一般質問 中村良路議員

※代表質問・一般質問の会議録より抜粋し掲載しております。(各議員からの「質問」(問)に該当する部分を黄色マーキングしております。)

「市史編纂について」

○中村良路 皆さん大変ご苦労さまでございます。私で一般質問ラスト前ということで、あと2人、もうしばらく皆さんお付き合いをよろしくお願いをしたいと思います。できるだけ私がスムーズに進行できるようにいきますので、よろしくお願いをしたいと思います。

それでは、一般質問をさせていただきます。

この一般質問におきましては、まず今回の質問は市史編さんと国道165号線香芝柏原改良工事、それと気象庁発表の南海トラフ巨大地震の臨時情報ということで、この3点を一般質問させていただくこととしました。

まず、市史編さんについてから始めさせていただきます。令和4年6月定例会において市史編さん事業について一般質問をさせていただきましたが、それ以降の進捗状況について質問をしていきたいと、そのように思います。

令和4年の12月議会の定例会においても香芝市市史編さん委員会条例が議決され、令和5年4月1日、編さん同条例及び香芝市市史編さん委員会規則が施行されました。文化財課において事業に既に取り組んでいただいているところだと、そのように思うところでございます。前回の質問ではまだ教育委員会でも具体的な方向性が定まっていない段階でしたが、秘書広報課からの事務引継の計画では、令和17年度には全巻を刊行される計画となっておりますがコスト面や編さんスケジュールの見直しを行ってまいりますというふうに答弁をされ、また編さん時期につきましては市史編さん委員会でお諮りする案件になりますのでスケジュール案を提示し審議いただく予定ですという答弁もいただいております。さらに、市史編さん事業を円滑、効果的に推進するために最上位組織である市史編さん委員会を令和5年度に設置予定との答弁もございました。そこでまず、市史編さん委員会の設置や委員会構成などについてお尋ねをいたしたいと思いますが、市史編さん委員会は設置されたのでしょうか。

以上、壇上からの質問とさせていただきます。

○まなび推進局長 お答えいたします。

市史編さん委員会の委員の委嘱及び任命の手続を経て、令和5年8月2日に第1回香芝市市史編さん委員会を開催いたしました。

○中村良路 ありがとうございました。立ち上げていただいたということでございますので、この香芝市市史編さん委員会の構成というのは何人で構成されているのか、その辺をお聞かせください。

○まなび推進局長 10名の委員で構成しております。

○中村良路 分かりました。10人いうことでございますので、それは有識者を含めてどのような方々が選ばれたのかお聞かせいただきたいと思います。

○まなび推進局長 香芝市史編さん委員会条例第4条に「識見を有する者」、「関係行政機関の職員」、「その他教育委員会が必要と認める者」となっております。識見を有する者につきましては、本市の文化財に対する理解や学問上の知識、自治体史編さんの経験等を考慮して本市文化財保護審議会委員から4名の方を委嘱しました。関係行政機関の職員は教育部、企画部から4名の職員を任命し、教育委員会が必要と認める者は市民の方々で本事業に興味関心のある方を公募により募集し、2名の方を委嘱しております。

以上です。

○中村良路 分かりました。

それでは、お聞きしますが、関係行政機関からは職員さんは教育部、企画部からの4名の職員さんを任命したということですが、香芝市市史編さん委員会での市史編さんの業務は、やはりこれは専門的な分野で長期の業務となります。そこで、職員さんは人事異動とかということも考えられますが、その辺については支障はないのでしょうか、どうなるのでしょうか、お聞かせください。

○まなび推進局長 令和5年度から6年度にかけての市史編さん委員会は、本事業を軌道に乗せていくための基本方針の作成や下部組織となる編集委員会委員、専門部会委員の選出など組織体制を整える重要案件を審議いただくため、教育部からは教育長、部長、局長を任命し、人事面や全庁的な協力体制を得る必要から企画部長を任命しております。

なお、人事異動があった場合についてのご質問ですが、事務局の文化財課におきまして引継ぎ等はきちんと対応してまいりたいと考えております。

○中村良路 分かりました。教育部からは教育長、部長、それと局長ということで、企画部から部長ということで任命をされたということですが、本来なら業務が終わるまでは同じ人が継続して行うことがよいのではないかというふうに思いますが、それは職員さんでございまして、職員さんはまた任期もある人もおられますので、そういうことはなかなかいけないと思います。ぜひとも完成に向けてのご尽力をしていただきたいと、そのようによりしくお願いを申し上げます。

それでは、その中で一般公募されている方がおられますが、一体一般公募されたのは何人ぐらいの応募がございましたか、お聞かせいただきたいと思います。

○まなび推進局長 2名の募集に対して4名の方から応募がございました。

○中村良路 2名の募集で4名ということで、この人数は多いのか少ないのか、香芝市の人口規模から見てもその辺はどうかなっていうところなんです、とにかく4名の市民の方が応募されたということですが、その4名のうち2人を委嘱されたということなんです、その委嘱された理由についてはどういう理由がございまして、お聞かせください。

○まなび推進局長 申込みの際に提出いただきました応募用紙記載のアピールポイント及

びレポート、私が伝えたい香芝の歴史の内容について、先に委嘱しました識見を有する4名の委員の方に採点表の評価項目に基づいて審査していただき、合計点数の平均が6割以上で、最も点数の高かった上位2名の方を選出いたしました。

○中村良路 6割以上の点数を取られた優秀な方だと、そのように思いますが、まだまだ隠れた存在が市民の中にはおられるかなと思います、その辺も併せてぜひとも掘り起こしも起こしていただきたいと、そのように思います。本事業の初期段階から市民の方々がそういうふうに参加されているのは大変意義があるものと、そのように思います。市民や市民団体の方々の中には、歴史文化財や自然環境などについて独自で調査研究され、詳しい方も大勢いることと、そのように思います。そういった方々とともに協働して地域の歴史の掘り起こしを進めていただき、今後も市民の参加の機会も増やしていただきたいと、そのように思います。ただ、市史編さんに関しては、過去のことも当然知っている方も必要でございます。そういう方が、やはり高齢化になっておられる方もおられます。そのためにも、一日でも早く刊行できるように進めていただきたいと、そのようにお願いをしておきます。

それでは次に、その市史編さんに関しての予算や進捗について、完成までの予算はどれぐらい試算をされているのかお聞かせいただきたいと思います。

○まなび推進局長 秘書広報課からの事務引継事項では概算で総額1億7,000万円程度となっておりましたが、文化財課においても同程度の試算をいたしております。今年度設置予定の市史編集委員会におきまして具体的な調査方針や方法などについて議論を行ってまいりますので、改めて見直しが必要かと考えております。

以上です。

○中村良路 分かりました。今の段階で1億7,000万円という試算をされておりますが、まだまだこれから要ることだろうと、何せ期間的には10年以上の期間を持ってされることなので予算ももう少しやはり見直し、さっき言われたように見直しも当然されながら進めていかなければならないと思います。とにかく小さな経費で大きな効果が出るようにその辺も併せてよろしく願いをしておきます。

その次に、それでは条例が施行されてからの進捗状況についてお聞かせいただきたいと思います。

○まなび推進局長 令和5年度は、市史編さん委員会を設置し、香芝市市史編さん基本方針として本事業の方向性について取りまとめていただきました。今年度は、市史編集委員会を設置するため委員の人選を進めており、並行して時代や専門分野ごとに資料の収集、整理、調査研究、執筆、編集を行うための専門部会の設置に向けて組織体制の確立を図っているところでございます。

○中村良路 ありがとうございます。基本方針とか、そういう方向性にまとめていただくということではいよいよ具体的に進めていく準備をするということですが、それもやはり市史編さん室というのひょっとしたら必要になってくるかも分かりませんね、必要に応じていろいろな事柄を考えていかなければいけないと思いますので、よろしく願いを申し上げ

げます。

それでは、これまでどれぐらいの頻度で会議をされたのかお聞かせください。

○まなび推進局長 昨年度の市史編さん委員会は、4回開催いたしております。

○中村良路 4回ということで、定期的に開催していただいているということで確認をさせていただきます。

それでは次に、委員会の会議された主な内容についてはどのようなことを会議されたのかお聞かせください。

○まなび推進局長 委員会では、編さん期間や市史の構成、刊行スケジュール、編集委員会、専門部会などについて各委員からは専門分野、あるいは他市町の自治体史編さんでの経験を踏まえて貴重なご意見をいただき、基本方針を取りまとめていただきました。

○中村良路 中には市史編さんの経験をされてる方っていう方もおられて、ちょっと安心して、スムーズにできることだと、そのように思います。

それでは、現時点において市史の構成についてはどのように考えておられるのかお聞かせください。

○まなび推進局長 現時点において、基本方針では、本市域における自然環境をはじめ先史時代から現代まで調査研究成果を十分反映し体系的に記述する通史編を3巻とし、その根拠となる資料を系統的にまとめる資料編を6巻で構成するとされております。また、普及版や学校教育で活用できる別冊、調査研究成果をまとめた市史調査報告や紀要などの附帯刊行物の刊行も必要とされております。

○中村良路 結構な巻数になるということでございますが、通史編3巻と資料編6巻ですか、それに併せて紀要などの附帯刊行物ということでされるようでございますので、本当によろしく願いを申し上げます。

それでは、今後のスケジュールと完成予定についてお聞かせいただきたいと思います、まずは今後のスケジュールについてお聞かせいただきたいと思います。

○まなび推進局長 専門部会は、時代や専門分野ごとに8部会設置の予定で、資料の収集、整理、調査研究、資料編、通史編の執筆、編集を行ってまいります。その期間は、およそ10年間を予定しております。

なお、専門部会は、隔年で2から3部会ずつ設置していく予定です。

○中村良路 分かりました。各部会ごとについてということで、やはり2年、3年のスパンを持ってスケジュールを進めていかれるということで分かりましたが、本当に長期間大変な作業になるみたいなので頑張って丁寧な作業を進めていただきたいと、そのようにお願いをしておきます。

それでは、その完成するめどとしては何年ぐらいを目指しておられるのかお聞かせいただきたいと思います。

○まなび推進局長 通史編の基礎資料となる資料編から着手し、資料編は令和12年度から同14年度、通史編は令和15年度から同17年度の刊行を予定しております。

○中村良路 分かりました。

それでは、今後これらの資料を含めて、作業の進捗ですが、そんな進捗のいろんな進み方も含めて公についてはそういうこともお知らせをしていただけるのかどうか、その辺をお聞かせいただきたいと思います。

○まなび推進局長 市史編さん事業の進捗などは、ホームページ等を通じて定期的に発信してまいりたいと考えております。歴史研究の成果や新たに発見された資料は、二上山博物館で公開するとともに編集委員等による講演会や講座を開催し、周知を図ります。また、デジタルアーカイブ化した資料を公開することも検討しております。

○中村良路 分かりました。歴史的なことも結構知らなかったことなども当然いろいろ出てくるとは思いますが、ぜひ市民の皆様にも公開をしていただき、そういうことを共有できるようにしていただくことも併せてお願いをしておきます。

それでは、あとこの項目の最後の要望となりますが、現在市史編さん事業は初期段階ですので文化財課を中心に事業を進めておられます。今後も各専門分野において多くの人々が動き、様々な資料が収集、整理され、調査研究が行われてまいります。そうなりますと、文化財課だけでは当然手狭になることも予想がされます。そこで、本事業の完成のためには専門的な分野が多岐にわたるということでもあり、本市の歴史などを後世に引き継ぐためにも必要な事業ですので、ぜひこれには市史編さん室というものも設置をしていただくことを併せて要望をしておきます。

これでこの編さんについての質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

「国道165号香芝柏原改良工事について」

○中村良路 次に、国道165号線香芝柏原改良工事についてを質問させていただきます。

この質問につきましては、これも令和4年の6月議会でも一般質問をさせていただいております。今回質問させていただくのは、その後の国道の状況があまり変わっていないのが現状でございます。一体どうなっているのか、その後の経過と状況をお聞きしたいと、そのように思っております。

なお、この事業主体は、香芝市ではなく国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所であることは以前にも申し上げております。前回の質問の最終的には、工事をする前には発掘調査をしなければいけないことが最大のネックとなっています。斑鳩町では、国道25号斑鳩バイパス、いかるがパークウェイに伴う発掘調査を橿原考古学研究所に代わって行ったということも申し上げました。香芝市も斑鳩町と同じく、事業に十分に協力をしていくことができます。国、県、市の3者が共に協力し、早期に工事着手、完成を目指していただきたいと思います。6月の三橋市長の所信表明にも、国道165号線は本来埋蔵文化財の発掘調査は奈良県が実施すべきものであるが、早期の工事の着手の実現のために国道事務所や奈良県とも協議を行い、本市の教育委員会において実施する方向で調整をしているところであります。

ということでございました。今回は、その後の取組状況についてを質問させていただくこととなりました。

ただ、私のこの質問する課題が市長の9月の行政報告にもございました。これは、一般質問通告書を提出した後に市長の行政報告が9月議会の初日に出されたことで質問したその回答がかぶるような形となるかも分かりませんが、あえて確認も含めてこの質問をさせていただくこととなりましたので、ご理解のほどよろしく願いをいたします。

それでは、聞いてまいります。

現在の事業状況についてということで、前回令和4年6月議会の答弁では用地買収については88%ぐらいできたということですが、現在の状況と事業の進捗率についてお聞かせください。

○都市創造部長 令和6年3月末での用地取得率は約90%、事業進捗率は約49%と聞いております。また、令和6年度においては、市長の行政報告にもありましたように、早期の工事着手に向けて本市教育委員会が埋蔵文化財調査を実施しているところでございます。

以上でございます。

○中村良路 分かりました。

まず、取得率について、90%ということですが、残りの10%っていうふうなことは一体どのようになっているのかお聞かせください。

○都市創造部長 残りの用地買収については、奈良国道事務所で地権者と交渉中であると聞いております。本市といたしましても、用紙交渉がスムーズに進むように本市職員が協力をしていく旨を奈良国道事務所に伝えております。

以上でございます。

○中村良路 大体その用地の買収については分かりました。

それでは、埋蔵文化財発掘調査の状況についてということで、前回令和4年6月の議会の答弁では、奈良国道事務所と県文化財保存課に確認しましたら一部の区間で発掘調査が終わってるとのことですが、事業地全体はまだ終わってないということでした。今回の答弁では令和6年においては埋蔵文化財調査を行われてますとのことですが、調査されているのは県がされたのか、もしくは市が県から受託して行ったのか、その辺をお聞かせいただきたいと思います。

○まなび推進局長 国道165号香芝柏原改良の事業に係る埋蔵文化財発掘調査につきましては、区間を分けて実施しており、1回目は平成30年度、2回目は今回の令和6年度でございます。1回目の調査につきましては奈良県が実施したものでございますが、今回の埋蔵文化財調査につきましては本市の教育部が行っております。国からの受託でございます。

○中村良路 ありがとうございます。その辺のことは今市長が進めていただいているなということよく分かりました。ありがとうございます。

それでは、埋蔵文化財発掘調査をしなければ拡張工事に取りかかれないうため、令和4年の6月議会の発言後、県との協議はどのように行われたのか、その辺もお聞かせいただきたい

と思います。

○まなび推進局長 令和4年度6月定例会の後の時期のものにつきましては、国、県、本市の3者にて一定程度の協議をしていたものと思われませんが、本年令和6年9月2日の本会議における市長からの行政報告でもありましたように、奈良国道事務所等の関係機関との協議を進め、早期の工事着手を実現するため本市が埋蔵文化財発掘調査を実施することといたしました。

○中村良路 分かりました。スムーズにそういうふうに進めてるということでございます。それでは、国道165号線の発掘調査についての現状をお聞かせください。

○まなび推進局長 市長の行政報告にもございましたが、国土交通省奈良国道事務所と協議を進め、令和6年6月27日に発掘調査の受託契約を締結し、8月5日から現地調査に着手しております。令和6年度は国道165号と中和幹線の合流付近から西へ4か所の調査区を設定し、遺構、遺物の広がりなどを確認しながら調査を進めております。現在のところ表土にサヌカイト製石器が散見されますが、顕著な遺構は検出しておりません。現地調査は10月下旬頃までの予定で、その後、資料整理と概要報告書の作成、完工となっております。

○中村良路 ありがとうございます。これも今市長が就任された後に素早く積極的に進めていただいた、そういった結果だというふうに思うところでございます。引き続きよろしくお願いを申し上げます。

それでは、現在狐井稻荷古墳と土山古墳の発掘調査をされていますが、文化財課の人員についてはどうでしょうか、いけるかどうか、その辺をお聞かせください。

○まなび推進局長 国道165号の埋蔵文化財発掘調査を担当している職員は、市史編さん事業等も兼務しており、負担増となっております。令和6年度は事務を担当する会計年度職員を1名増員していただきましたが、次年度の令和7年度に向けては専門職の人材確保に向けて引き続き人事担当課と協議してまいりたいと考えております。

○中村良路 分かりました。あれもこれもということで大変だと、そのように思います。しかし、国道の改良工事も一日も早く急がなければならないし、市史編さんも長期にわたる重要な事業でもあります。どちらも本当に一日も早い完成が望まれます。そのためにはあらゆる機材や人員の確保も必要だと思いますので、ぜひとも適切な対応をお願いしていただきたい、そのように思います。

それでは、国道165号線の発掘調査で様々な遺物が出土された場合、現地説明会や報告、遺物などは公開されるのかどうかお聞かせください。

○まなび推進局長 顕著な遺構や遺物が出土した場合には、現地説明会や二上山博物館での公開展示、担当者による講演会の開催などを通じて市民の方々に周知を図ってまいります。

○中村良路 分かりました。ぜひともその辺もよろしくお願いをいたしたいと思います。

それで、1点だけ少しちょっと外れますが、現在狐井稻荷古墳と土山古墳の発掘をされていますが、これについても現地説明会や報告、遺物の公開はされるのかどうか、その辺をお

聞かせたいと思います。

○まなび推進局長 土山古墳につきましては、令和6年3月、地元向けに現地説明会を開催し、98名の参加者がございました。今年度令和6年度は、両古墳の埋葬施設の調査を予定しておりますので、貴重な発見があった場合は現地説明会の開催をはじめ二上山博物館で公開展示するなど、市民の方々に郷土の歴史に触れる機会の創出を図ってまいりたいと考えております。

○中村良路 ありがとうございます。ぜひともお願いしたいと思います。以前に智辯学園のグラウンドが造られるときにたくさんのサヌカイトを使った矢じりなどが多く出土しています。また、狐井稻荷古墳から出土されたと思われる子持ちまが玉という珍しい遺物も発見されています。そのためにも、報告や現地説明会をしていただき、少しでも香芝の歴史や遺産、遺跡などを多くの市民の方々や考古学ファンのためにも知らせていただきたいと思いますので、その辺も要望をしたいと思います。

それで、市長にも少しお聞きしたいと思いますが、この国道165号線、早期に向けた方策として県との協議や計画についてはどのようにされるのか取組についてということでお聞かせしたいと思いますが、市長所信表明で香芝市と大阪府を結ぶ国道165号の安全対策や拡幅による車線の増設など交通渋滞の解消策が早期に実施されるよう国や奈良県との協議を力強く進め、本市としてもできる限りのことを実施してまいりますというふうな表明がございました。市長就任後、様々早急に取り組んでいただきましたが、改めて市長にこの拡幅工事を含めて進め方を再度お聞かせいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○市長 さきの令和6年9月2日の本会議における行政報告でも申し上げましたが、国道165号香芝柏原改良の事業につきましては、奈良国道事務所等の関係機関との協議を進め、早期の工事着手を実現するため本市が埋蔵文化財発掘調査を実施することといたしました。そして、その後8月22日には、私のほか都市創造部長、土木課長などが近畿地方整備局を訪問し、近畿整備局長、建政部長、道路部長に対し国道165号香芝柏原改良と、また併せてスポーツ公園及びアクセス道路の整備につきまして要望を行いました。国の防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の計画が令和7年度に終了することから、次期国土強靱化計画の予算獲得はこの秋が最も重要な時期であると考えられます。本市としても、本定例会が閉会した後、なるべく早い時期に国土交通省等の本省へも要望活動を実施してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○中村良路 ありがとうございます。市長に就任されてからまだ3か月ですか、しかたがないのに積極的に香芝市の道路の状況を分かっていただき、進めていただいていることに対しては本当に感謝を申し上げる次第でございます。ぜひとも引き続き早急に拡幅ができるようによろしくお計らいのほどお願いを申し上げます。

ということで、私は、いまだにこの165号線の朝夕の混雑は、続いている状況は以前から

変わらない状況でございます。こんな道路状況下の中で、例えば緊急事態が発生し165号線を通らなければならない事態になったとき、どのような状況になるのかと考えれば、本当に早期に拡幅を進めていただく必要があるものと強く思います。あわせて、引き続き市長、よろしく願いを申し上げます。

この項については終わらせていただきます。

「気象庁発表の南海トラフ巨大地震臨時情報による市民への対応について」

○中村良路 その次に、3番目でございます。気象庁発表の南海トラフ巨大地震臨時情報による本市の対応についてということでございまして、私が質問させていただいたところで最後から2番目、ラスト前でございます。この質問に対しては、各議員からいろいろと似通った質問をされました。そういったことも踏まえて少し、せっかくこの場に立たせていただいたので、私のその思いだけは述べさせていただきたいと思いますので、よろしく願いを申し上げます。

8月8日午後4時30分頃、日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生したことで南海トラフ地震の想定区域では大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まったと考えられることから、8月8日19時55分に気象庁は南海トラフ地震臨時情報を初めて発表されました。その後1週間経過し、南海トラフ地震の想定震源区域ではプレート境界の固着状態に特段の変化を示すような地震活動や地盤変化は観測されないことから、政府として8月15日17時をもって南海トラフ地震臨時情報、巨大地震注意に伴う特別な呼びかけが終了されました。しかし、特別な呼びかけが終わったからといっても、まだまだ油断はできません。近い将来必ず巨大地震が発生することが想定されていますので、決して忘れてはいけなと、そのように思います。ぜひとも皆様方の改めてのご注意をお願い申し上げます。

それと、私からの質問といたしましては、各自治会でも気象庁発表の大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていることを地域住民に防災対策への強化の呼びかけをするように働きかけをしていただくことや改めての備蓄品の確認の要請も自治会のほうにさせていただくことは可能なんでしょうか、その辺をお聞かせいただきたいと、そのように思います。

○危機管理監 今回の発表や対応が初めての事態であったことから、各自治会にお伝えする方法も含めまして今後における対応の課題といたしまして検討してまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

○中村良路 ありがとうございます。誰もが分かりやすい啓発についてということでまたお聞かせいただきたいと思いますと思いますが、多くの市民はニュースやネットで情報を知り得ています。しかし、誰が見ても分かりやすくすることも大切ではないかと、そのように思うとこ

ろでございます。例えば市役所庁舎に南海トラフ地震臨時情報の注意喚起をする垂れ幕や看板などの設置で啓発したり、それと併せて自治会の協力を得て各公民館にも注意看板を設置いただいたり、さらには注意喚起をする宣伝カーなども市内を巡回するなどといったことはできないかなというふうに思うところでございます。緊急事態ということで、見ても聞いても分かるような仕組みにすることも防災対策の一つではないかと思います。このことについてはどうでしょうか。

○危機管理監 この臨時情報の発表におけます対応といたしましては、地震の発生に注意して日常生活を送ることなど大規模地震の発生の可能性が高まった状況であることを呼びかけることが大きな役割でありますので、議員のご意見を含めまして、より市民の方々に伝わるよう工夫、検討してまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

○中村良路 ありがとうございます。積極的なそういった呼びかけもよろしく願いを申し上げます。しかしながら、あまり過激な呼びかけについては、市民を逆に混乱させてしまうことも考えなければならないと思います。しかし、啓発することも決して怠ってはいけないとも、そのようにも思います。適度な呼びかけをするように今後大いに検討していただきたいと、そのようにお願いをしておきます。

今回の南海トラフ地震臨時情報の発表については、多くの市民、多くの子供たちも地震に対しての危機感を感じ、防災の意識も高まったことだと、そのように思うところでございます。一方では、スーパーやドラッグでは水やラーメンなど、米も含まれますが、店頭からなくなるといった、そのような異常事態となっております。いつか来る、必ず来る巨大地震は、ほとんどの市民はそれなりの防災意識を持っていたことかなというふうに思います。しかし、これも時がたてば意識も徐々に薄れがちになり油断してしまいますので、注意をしていただきたいと、そのように思います。

ちなみに、毎年9月1日は防災の日でございます。大正12年、1923年9月1日に発生した関東大震災は、死亡、行方不明者10万5,000余名余りの人が大惨事に遭われました。この震災を教訓として、一人一人の防災対策の重要性を広く国民に理解をしてもらうために9月1日が防災の日と制定されたといえます。また、防災週間の期間は8月30日から9月5日までの期間で、防災品点検の日が3月1日、6月1日、9月1日、12月1日の年の4回ございます。こんな日に改めて防災意識を高めていただきたいと思うところでございます。

市としても市民や自治会に啓発をしていただきますことも併せてよろしく願いを申し上げます、私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。